

## 西村大臣会見要旨

令和2年12月10日（木）16時43分～16時55分（12分）

（於：中央合同庁舎第8号館1階S101・103会見室）

（大臣冒頭発言）お待たせいたしました。それぞれの県知事と連絡を取り合っておりまして、遅くなりましたこととお許しいただければと思います。

まず、分科会ですが、明日、朝9時15分から新型コロナウイルス感染症対策の分科会を開催いたします。主な議題は最近の感染状況。今夜18時から開催予定の厚労省のアドバイザリーボードでの評価を踏まえて、御議論いただく予定です。

それから、国際的な人の往来について、現状などを御報告いたします。

そして、ワクチン接種について、様々報道もなされておりますが、国内でのワクチン接種の最終取りまとめに向けて、接種に関する優先順位、接種の実施体制などについて御議論いただく予定です。

それから、ここが一番大事な点になってくるかと思いますが、感染状況等を踏まえた今後の対応について、まさにアドバイザリーボードの評価を踏まえて、感染状況を分析していただきながら、それを踏まえての対策について、これまで政府が都道府県と連携して取ってきた対応などを御説明し、また、今の状況を踏まえて、今後の対応について御議論いただく予定にしております。

それから、感染状況は御案内のとおり、昨日は2,802人と過去最多の水準が続いてきているところであります。引き続き、極めて強い警戒感を持って、最大限の警戒感を持って対応しているところであります。特に入院される方の数、重症者数の増加が続いてきております。各地の病床占有率が高水準の状況だということで、この医療提供体制がかなり厳しくなっている状況でありますので、極めて強い危機感を持って、都道府県と緊密に連携しながら対応しているところであります。

本日、愛知県・大村知事、大阪府・吉村知事、北海道・鈴木知事とそれぞれ電話会談を行いました。感染者の数が高い水準の中で、名古屋市が逼迫しているという名古屋市長のお話なり、数字が出てきておりますが、今日も愛知県の大村知事に確認をいたしましたけれども、名古屋市の周辺において

愛知医科大学、藤田医科大学、あるいは岡崎市にある、コロナ専門の病院である愛知県立病院など、病床はしっかり確保してきているし、対応してきているということでありました。ただし、今後も今のような水準で多数の陽性者が報告された場合、そういった場合の危機感を知事とも共有いたしました。様々な状況を想定しながら、緊密に連携して対応していくことで一致をしたところでもあります。

大阪府の吉村知事との間でも感染状況、病床の状況などを共有しました。私からは15日に大阪のコロナ重症センター、これを稼働させるために、国としても全力で応援していくということをお願いしたところでもあります。今後の感染状況を見ながら、15日までとされている営業時間の短縮要請などについても、緊密に連携して対応していくことで一致したところでもあります。

北海道の鈴木知事との間でも電話会談を行いまして、感染状況、病床の状況などを共有いたしました。北海道はちょうど今、対策本部が開かれているんじゃないかと思いますが、16時から開くということで、今後の対応についても意見交換をいたしました。旭川の病院の大規模クラスターの発生など厳しい状況が続いておりますが、明日の分科会においても専門家の評価をいただきながら、引き続き今後も連携して対応していくということで一致したところでもあります。

いずれにしても、各都道府県知事と緊密に連携しながら、まずは今の病床の確保、医療提供体制に万全を期していきたいと思っておりますし、何としましても陽性者の数を減らしていかなければいけませんので、連日高い水準が続くとやはり病床が厳しい状況になりますので、連携して対応していければと考えております。

(問) 2点あるんですが。

感染状況で、全国最高の状況で高止まりということですが。時短要請とかの効果もそろそろ出ているとは思いますが、まだ高止まりということで、明確に減らすための追加の対策というのが必要だと思っておりますが、その場合こういった具体策が想定されるのかということをお聞かせください。

あと、「G。T。トラベル」の関係で、今お話にあった大阪と札幌なんですが、昨日、吉村知事が適用除外について、期限の15日以降に再開できる状況にないということで、国の判断を求める話もされましたが、今日そういった話があったのか。

あるいは政府として、今後、期間の延長を検討されるお考えがあるのかということをお聞かせください。それは、札幌市もあわせてどういった状況かお聞かせください。

(大臣) まず1点目につきましては、それぞれの地域で時間短縮要請などの措置が取られています。状況を見ると、例えば北海道すすきのでは、足下でいわゆる感染拡大前と比べて50%から70%減少しております。それから、大阪の歓楽街でも50から60%減少してきておりますので、一定の人流、人の接触機会を減らすことにはつながってきていると思います。

ただ、今のところ新規陽性者の数に明確な減少傾向は見られないということと、医療提供体制はいずれも厳しくなっています。北海道の場合は、札幌が以前ほどではないにしても、引き続き厳しい状況であり、また、旭川がより厳しい状況だということでもありますので、そういった感染状況、病床の状況をしっかりと専門家の分析も今晚、明日といただきながら、対応していきたいと考えているところであります。

今後の対策についても今日いろいろ意見交換をしました。時間短縮要請が来週にはそれぞれいわゆる期限が来ますので、今後どうしていくか。それから、「G。T。トラベル」一時停止、あるいは出発の方も自粛の呼びかけなどを行ってきているところではありますが、こういったことについてどう対応していくか、それぞれの知事と意見交換も行いました。

私の立場で申し上げれば、明日、分科会を開いて専門家の皆さんの御意見をいただきますので、その御意見、明日の議論も踏まえて、それぞれの知事の考えもお聞きしながら、緊密に連携して判断をしていきたいと考えているところです。